

# 監事監査報告書

令和3年5月15日

社会福祉法人素心会

理事長 萩原 勝己 様

監事 古谷 俊 幸 

監事 南山 利久 

次の通り令和2年度監事監査を実施したので報告します。

## 1 監査の方法及びその内容

### (1) 監査方法

新型コロナウイルス感染症の拡大が令和3年になっても続き、感染対策を強化するため、新たに「新型インフルエンザ等まん延防止等重点措置」が創設されました。そして重点措置区域として神奈川県も適用されました。当初は4月20日から3市が対象でしたが、その後対象地域が追加拡大され県内17自治体が対象となり、期間も延長されました。大磯町及び二宮町は対象地域になっていませんが、対象自治体は5月31日までの期間、重点措置が取られることになりました。

こうした状況を鑑み、併せて神奈川県福祉こどもみらい局からの通知も踏まえ事務局と調整し、本年の監事監査は昨年に続き書面監査とし、5月15日に書面監査を実施しました。

### (2) 内容

提出資料に基づく質問、意見等に対する回答を踏まえ監査を行いました。

#### ◎ 古谷監事

(質問)

- ① 「新型コロナウイルスに関する対応・経過」冊子についてはどこに配布されたのか、また職員等の反応は。
- ② 感染症は今後も繰り返して発生すると思われるので、素早い判断、取り組みができる人材が必要です。そのため、人材育成として県等への派遣研修を考慮してはと思いますがいかがか。
- ③ コロナ禍が長期化し、入所者、保護者、職員等多くの人が緊張状態に置かれ、ストレスもたまっていると思われるがどのような状態にあるのか。その解消に向けた

取り組みはあるのか。

- ④ 施設等の感染症への対応について、建物、設備、備品等の現状について最低限取り組みなければならぬことはどのくらいあるのか。
- ⑤ 資金収支を見ると執行額がかなり減っているが事業活動に支障はなかったのか。
- ⑥ 執行額の減は利用者サービスへの支出に影響するがコロナ禍によるものなのか。コロナ禍が落ち着けば収支の状況は回復するのか。業種によりコロナ禍の後はかなり変わってくるという見方もあるが福祉関係者はどうみているのか。

(意見)

- ① 今後の監査資料保存のため資料本体や添付資料を記載した資料一覧表を作成する必要がある。
- ② 冊子「新型コロナウイルスに関する対応経過（令和2年度まとめ）」については大変よくまとめられている。このすばらしい冊子を職員研修等に有効に活用していただきたい。
- ③ どの資料も作成水準は非常に高いものである。ただ非常によくできていても本当に読んでもらい素心会の取り組みを理解していただき支援、協力しようという気持ちを持ってもらう必要があります。しっかり読んでもらうには、字のポイントが小さすぎます。高齢化社会が進む中、早急に活字の大きさについて検討願いたい。

◎ 南山監事

(質問)

- ① 働き方改革関連法に基づき、2019年から時間外労働の上限規制が適用となっています。この中で「年次有給休暇の確実な取得」の規定があり、使用者は職員に定められた日数の有給休暇の時季を指定して取得させる必要があります。新型コロナウイルス感染症に対する業務拡大で有給休暇が取りにくいと思われそうですが、管理監督者の対応が問われるところです。そこで次の項目に対する回答を願います。

ア 職員の有給休暇取得状況

イ 法の趣旨をどのように職員に周知したか

ウ 有給休暇をいろいろな事情で取りにくい職員、取れない職員がいます。そうした状況の中、どのように職員に休暇取得を促したのか

- ② 新型コロナウイルス感染症による事業に対する影響は非常に大きかったと思います。そのため令和2年度決算は非常に厳しいものになると予想していました。結果は事務局の尽力により、約1750万円の繰越金が出たことは予想外でした。国の新型コロナウイルス感染症に対する補助金も赤字減少に寄与したと思います。補助金の具体的な内訳について教示願います。

(3) 書面監査に使用した資料

○令和2年度事業報告書(案)及び関係資料

- 令和 2 年度計算書類、令和 2 年度決算説明資料及び関係資料
- 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書
- 新型コロナウイルスに関する対応経過（令和 2 年度まとめ）
- Staff training Report 2020
- 質問、意見に対する事務局回答

## 2 監査結果

### (1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。

## 3 監査講評

- 新型コロナウイルス感染症の発生という危機下において理事長、常務理事の指導、監督のもとに業務は良好に執行されていきました。特に危機管理上、必要な情報をきちんと関係者に知らせるということでは、役員に対する 6 回の新型コロナウイルスへの対応状況の通知は、素心会の状況を把握するのに非常に役に立ち高く評価するところです。

同様に、職員への周知や感染症対策の実施そして県保健福祉事務所等関係機関との連携においても迅速な動きが見られたことは評価します。特に感染者の発生に係る対応は、迅速かつ適正であり、大きな混乱等が見られなかったことは日ごろの対応訓練が生きたのではと思います。

- 利用者の減少等による収入減に対し、国の補助金を利用するなど経理上の工夫が見られ繰越金が出たことはすばらしい成果でした。今後も補助金があると期待することなく引き続き効率的な事業運営の工夫を願います。
- 新型コロナウイルス感染症により職員は心休まる日はないと思われませんが、職員に対するメンタルヘルス対策や働き方改革による改正労働基準法の趣旨を踏まえた対策を講じることにより、休暇がきちんと取れる職場づくりに配慮願います。
- 従来から報告書は「わかりやすいこと」が必要と述べてきました。事業報告書は読みやすく内容も簡素に問題・課題も整理され引用データもしっかり記載されておりよくできています。また決算説明資料も大変わかりやすく作成されていました。
- 「新型コロナウイルスに関する対応経過」冊子は要領よくまとめられていました。具体には職員や保護者等への取り組み状況、通知、配布した資料を一つの冊子としてまとめられており一連のコロナ対応の現場での臨場感あるものとなっていました。今後もこのすばらしい冊子を是非、職員研修等に活用していただきたい。

- 冊子「65<sup>th</sup> Spring2020」は、社会福祉法人素心会 65 年の歴史や内容そして現在の状況を紹介したものでわかりやすく大変よくできていると思いました。  
素心会をより以上に知ってもらうため、関係機関や地元の皆様を含め多くの人の目にとめてもらえれば反響があると思いますので活用方法を工夫してください。
- 研修報告書「Staff training Report 2020」は内容が充実していました。受講職員の研修内容がわかり、課題に対してどのように考えどのように行動したいのか等の具体的な内容が把握でき、また管理監督者がどのような認識を持って行動すべきか等も理解できて大変わかりやすい報告書でした。  
今後は、この報告書を利用して職員全員が内容を把握し、問題意識をもって研修成果を共有していくことを期待します。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大という今までなかった危機に対し、理事長以下職員全員が全力で対応し尽力したことに対し高く評価するところです。この状況は当分続くと考えられます。今後も引続き一歩進んだ対応を期待します。